

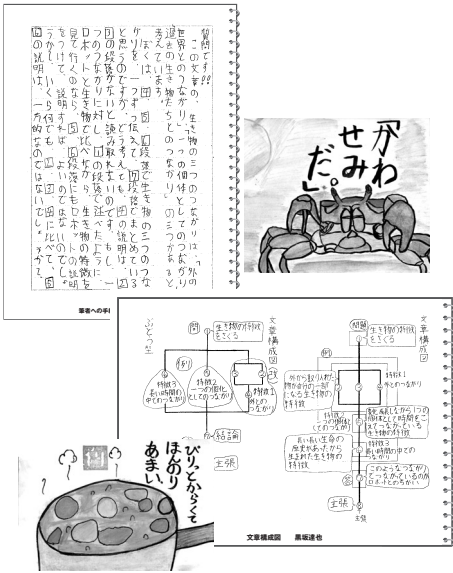
「アイテム」児童用について

子どもたちにとって、「書く」ことは、言葉の学びにおいて「自分を振り返る」ことが自覚的にできる大切な言語活動です。授業中に発言しない子どもが、その時間に何を思い、何を考えていたのかをうかがい知るために、子どもが書いたもの、特にノートに目を向けるべきではないかと思っています。

そうした観点に立ち、「アイテム」児童用は作られています。「書く力」を伸ばすためには「書く場」を保障する必要があります。

作業のページ

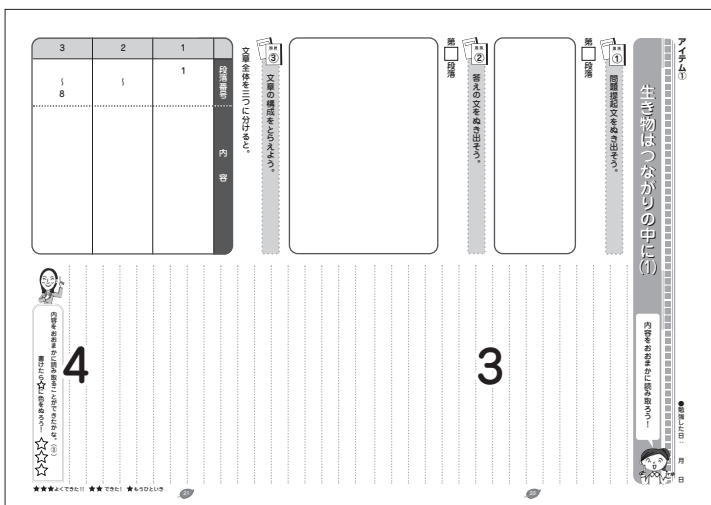
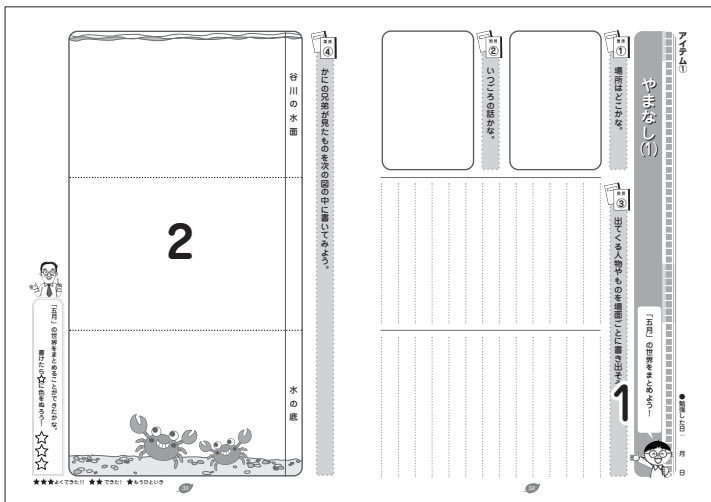
作品の構造を整理していく「言葉マップ」、物語に登場する人物の関係を表す「人物関係図」、作品の一場面を描画する「絵手紙」など、これらの作業を通して、作品を理解し、整理する技法が身につきます。



「アイテム」では、発問に従って書いていくことで自分の考えを明らかにし、自分の思考の道筋を把握、整理することができるようになっていきます。そして、「アイテム」をクラスの中で交流させることで、一人ひとりの考えがクラスの中で資料として、また財産として広がるはずで

- 光村図書・東京書籍・教育出版の3教科書に対応。
- 各学年（5・6年）の教科書の物語・説明文より各2作品（合計4作品）について、児童が授業で使う学習ノート形式で学習。
- 1 各回の授業のテーマが明示されています。
- 2 「アイテム」には「言葉」で表現するだけでなく、作図によってまとめたり、描画でイメージを膨らませたりする作業が随所に組み込まれています。
- 3 基本的な構成では、板書や友達との参考となる意見が記入できるように、下段がノート欄となっています。
- 4 各回の最後に理解度を自己評価できるようにしました。

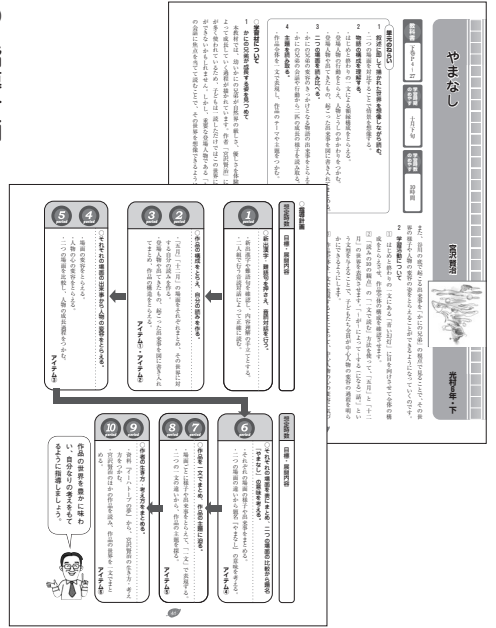
「アイテム」国語（児童用）



「アイテム」国語（児童用）5年・6年
・A4版 48～64P 学校納入価格 各450円（税込）

○ 単元のねらい

指導上の重要事項が挙げられています。



○ 指導計画

単元ごとの「アイテム」を活用しての想定時数、目標・展開内容が記載されています。

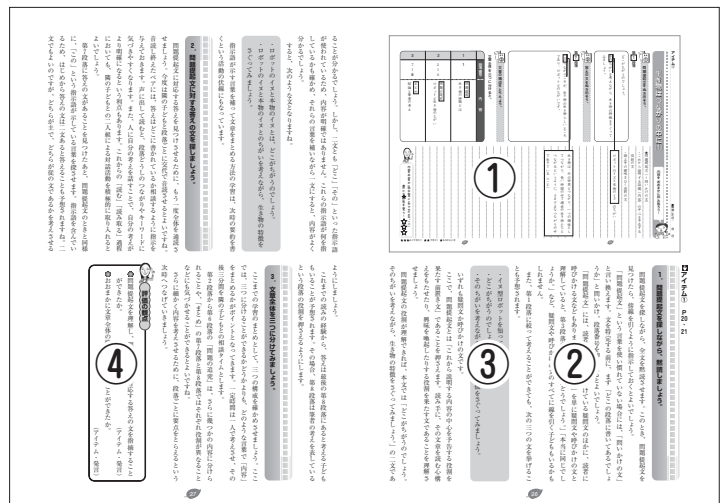
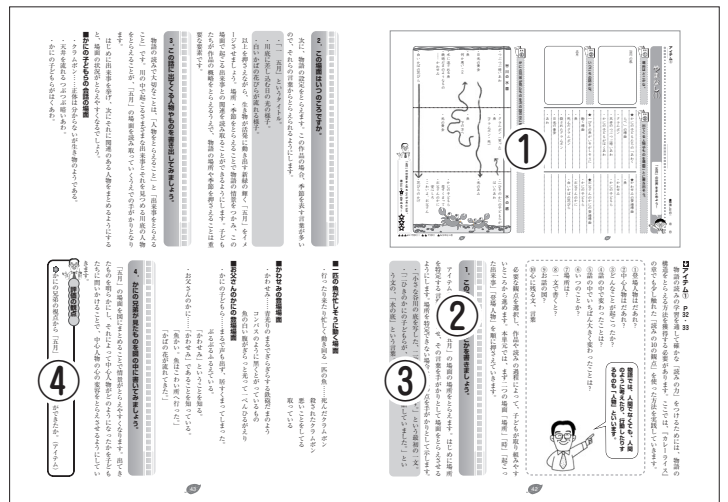
■ 「アイテム・マスター」指導書

授業に参加しているという実感を、子どもたち一人ひとりが感じ、影響を与え合うことができたなら、楽しい授業になるのではないのでしょうか。

「アイテム・マスター」は、そんな授業の実現を応援する指南の書です。

「アイテム・マスター」を用いた指導展開では、子どもたちの書いた「アイテム」をクラスの中で交流していきます。交流することで、一人では導き出せないものを、ともに作り出す力が生

「アイテム・マスター」(教師用指導書)



「アイテム・マスター」(教師用指導書) 5年・6年
・A4版 72～80P 学校納入価格 各1,800円(税込)

まれるのです。

筑波大学附属小学校・国語研究部の5名の教諭が、教科書作品について、新出漢字の学習、音読の時間を除いたすべての指導展開案を執筆しています。「アイテム」児童用に提示された発問の趣旨説明、発問を受けた児童へのアプローチ、一時間の授業の進め方・まとめ方を、実際の授業に照らして書き下ろしています。

授業で出会った作品を、子どもたちが確実に自分のものとして受け止められるような導き方を心がけました。

● 「アイテム」国語(児童用)を活用した授業展開を行う際の指導書。

- ① 「アイテム」児童用の縮刷には、解答例や鍵となる言葉を添えました。板書の際に有効に活用してください。
 - ② 児童への発問、描画などの作業に対してのアプローチが詳しく解説されています。
 - ③ 作品のキーワードや重要な叙述を強調しました。
 - ④ 各回の最後に「評価の観点」を掲載しました。
- ※ 「アイテム」児童用に記載されていない発問も適宜掲載。より理解が深まるよう、教師からの問いかけとして設定しています。